

「河川技術・流域管理分野 提案型課題（流域課題）」
（令和3年度採択）

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
2019年千曲川洪水氾濫が企業にもたらした直接的・間接的経済被害の推計および過去の水害との比較分析	名古屋工業大学 中居 楓子	A
<p><研究概要> 気候変動を踏まえ、流域治水において、企業や企業が立地する地域による事前対策、応急対応の向上および効果の評価が重要となっている。本研究では、2019年の千曲川洪水で被災した長野県を対象に被災企業の被害状況と被害軽減策の実施状況の調査をおこない、1) 企業の減災対策が直接被害の軽減、間接被害（生産能力の復旧）に及ぼした影響、2) 被災地域の社会経済的状況が浸水地域の企業の立地に及ぼした影響を明らかにする。</p>		
<p><事後評価指摘事項> A評価のためコメントなし</p>		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった。
- B：一定の研究成果があった。
- C：研究成果があったとは言い難い。